

（仮称）土浦市立上大津地区統合小学校整備基本計画（案）のパブリック・コメント実施結果について

1 実施結果

募 集 期 間	令和5年3月2日（木）～令和5年3月23日（木）
募 集 方 法	・（仮称）土浦市立上大津地区統合小学校整備基本計画（案）を市の公式ホームページに掲載したほか、本庁舎（教育総務課及び情報公開室）、都和支所、南支所、上大津支所、新治支所、神立出張所、一中地区公民館、二中地区公民館、三中地区公民館、四中地区公民館、上大津公民館、六中地区公民館、都和公民館及び新治地区公民館に設置し、教育総務課に持参、郵送、ファクシミリ、電子メール、入力フォームのいずれかにより募集を行いました。
意見提出者数（有効数）	10人
意 見 件 数	34件
市ホームページ閲覧数	297件

2 提出された意見とその意見に対する考え方

意見No.	項目・意見内容	意見に対する考え方・修正の方針及びその内容
1	P-4-2 前提条件の整理 2.1 上大津地区全体の適正方針（2）方針●留意事項 児童の通学時における安全確保には十分留意する。とあるが、現上大津東小学校の通学時の問題点を把握して、施設整備の配置計画を行っているのか具体的に知りたい。	適正配置の方針の留意事項は、統合校の候補地選定における留意事項であり、昨今の国道 354 号の交通事情等を踏まえ、通学児童の安全確保を第一に、上大津東小学校北側拡張としたものです。 今後は、84 ページに記載がございますように、スクールバスの運行、児童の動線と車両の動線の分離等、登下校の安全確保を十分に踏まえ、施設整備の配置を検討してまいります。 具体的な施設配置については、令和 6 年度に予定しております基本設計の中で決定いたします。

意見No.	項目・意見内容	意見に対する考え方・修正の方針及びその内容
2	P74-5.5 配置計画案の方針 P76-5-7 想定される配置計画案の検討（参考） ・3案比較検討のメリット・デメリットの評価に偏りがあるように思える。 ・配置ゾーニング例3で、施設の解体 ・改修対象が異なっているのはなぜか？。（ゾーニング例1,,2 児童クラブ改修）（ゾーニング例3 児童クラブ/特別支援改修） ・ゾーニングに体育館解体（移設）案も入れて欲しい。	3案比較検討のメリット・デメリットの評価については、御意見を踏まえて一部修正をさせていただきます。 ※修正内容につき、76ページ参照のこと。
3	P77、P78、P79 ・配置計画では、新たに取得した北側の土地に新校舎を配置することに理解はするが、既存体育館を長寿命化改修することにより、新校舎の配置が制約になっていると考える。まず、統合小学校で新たな課題であるスクールバスの動線・駐車場に関して、北側から多くの徒歩児童（約300名）が通学するのに、配置ゾーン例1（北側一文字型校舎配置）、配置ゾーン例2（北側中庭型校舎配置）で北側を駐車場を整備することに疑問を感じる。徒歩児童の安全を優先に考えるのであれば、施設の南側（市道Ⅱ級9号線）に整備した方がよい。（スクールバスのルートをどの様に考えているのか不明）。おおつ野住宅街の幅員は6m、歩道無しで、徒歩児童や中学生の自転車通学が多く、スクールバスを含め大型バスの通行は大変危険である。また、小学校の南側（市道Ⅱ級9号線）には歩道が無く、東側（市道沖宿17号線）、西側（市道田村116号線）の入り口はどちらも見通しが悪い為、車両出入り時に大変危険である。よって配置計画に合わせて整備した方がよい。	現時点では、体育館の配置については、新校舎からの距離も踏まえ、適切であると考えております。 令和5年度に（仮称）土浦市立上大津地区統合小学校開校準備協議会においてスクールバスのルートの検討を進めたうえで、児童の安全確保が図られるよう、駐車場の配置も含めた全体の配置計画を検討してまいります。 敷地に隣接する幅員が狭い道路については、関係部署と協議のうえ、幅員等を検討してまいります。

意見No.	項目・意見内容	意見に対する考え方・修正の方針及びその内容
4	配置計画において、既存体育館の長寿命化改修を制約条件とはしないで新規（移設）とし、通学児童の安全を一番に考えた配置計画として欲しい。 （参考） 現行車完成（S53.3）→建替え（キャパオーバー）。 現体育館完成（S57.1）→長寿命化改修？（費用が別枠で本体工事費に含まれないのか？）。	市学校施設は、80 年程度使用可能とする「土浦市学校施設長寿命化計画」の方針に基づき、長寿命化改良工事を行うことで、既存建物を長く有効に活用し、安全・安心で持続可能な教育環境を確保していくこととしております。 従いまして、既存体育館についても、長寿命化改良工事を実施し、機能向上を図ることを基本としております。 なお、構造体の劣化状況等を踏まえ、84 ページに記載のとおり、教育効果や利便性、安全性などについて、総合的に考慮したうえで、体育館の長寿命化改良、または建て替えの方針を決定し、全体配置を検討してまいります。
5	災害時の緊急車両の搬入に問題はないのか？ 以前、上東小学校での防災訓練イベントで、はしご車の搬入が出来なかった事があった（機材更新で大型になった為）が大丈夫か？。	消防署とも協議のうえ、支障がないように計画いたします。
6	●土浦市役所のホームページで「上大津東小学校」「統合」で検索すると、最近提言資料としてヒットするのが令和 2 年 7 月の資料（五中隣接案）となっています。上大津東小学校北側拡張で決定したのですよね？五中隣接案ならば信号無視が横行してる交差点が通学路になるので大反対です。自転車通学中学生との接触事故も考えられます。混乱やいらぬ不信感を招きますので大至急令和 5 年 3 月のものと差し替えをお願いします。正しい意見が集まりません。	提言書（案）については、「第 3 回（仮称）土浦市立上大津地区総合小学校施設整備等検討委員会（令和 4 年 11 月 22 日開催）の開催結果について」の「資料 1 提言書案」として掲載しております。 過去に提出された提言書についても記録として掲載しておく必要があることから、検索の際にヒットしやすいよう工夫してまいります。

意見No.	項目・意見内容	意見に対する考え方・修正の方針及びその内容
7	●体育館の長寿命化について 築 40 年以内のものは長寿命化する方針とのことでしたが、上 大津東小学校の体育館は 4 年しか変わらないとのことなので、 その方がグラウンドをより広々使え、より良い環境が出来るの であれば、新しく別の場所に建てることを希望します。その方 が制限が無いので、体育館としても学校としてもより良いもの が出来ると思います。税金をたくさん使うのであればしっかり 良いものを作っていただきたいです。よろしくお願いします。	市学校施設は、80 年程度使用可能とする「土浦市学校施設長寿命化計 画」の方針に基づき、長寿命化改良工事をするすることで、既存建物を長く 有効に活用し、安全・安心で持続可能な教育環境を確保していくことと しております。 従いまして、既存体育館についても、長寿命化改良工事を実施し、機 能向上を図ることを基本としております。 なお、構造体の劣化状況等を踏まえ、84 ページに記載のとおり、教育 効果や利便性、安全性などについて、総合的に考慮したうえで、体育館 の長寿命化改良、または建て替えの方針を決定し、全体配置を検討して まいります。 校舎と体育館の建築時期の違いは 4 年ですが、現在の校舎では、少人 数学習などの新しい学びに対応することが構造上困難であり、既存校舎 では施設規模も不足することから校舎については改築としております。 いずれにいたしましても、グラウンドについては、十分な面積を確保 してまいります。
8	●地域の人も使えるラーニングコモنزのスペースを校内に作 るのであれば、交番か消防の校内隣接を希望します。 おおつ野には交番も消防署ありません。まだ住宅建築がこれ からの土地が多い地域ですし、不審者との判別がつきにくいで す。学校の工事途中に業者を装って不審者が校内に入ってくる ことも充分考えられます。職員室の見えるスペースに鍵で区切 ったとしても、万が一先生たちに何かあったら児童たちのショ ックは計り知れません。少しでも安心するために交番か消防団 などをお願いします。在駐が望ましいです。	ラーニングコモنزは、図書室、コンピュータ室、多目的室等を一体 的に整備するもので、文部科学省の「新しい時代の学びを実現する学校 施設の在り方について」において、これまでの学校図書館の在り方を捉 えなおし、整備することが求められているものです。また、児童の学び の拠点とすることで、ICT を活用した調べる、まとめる、発表するなど の学習活動を効果的・効率的に行えるよう工夫することが可能となりま す。 将来的な地域開放の在り方については、教職員や保護者等と協議し、 決定してまいります。 不審者対策等、防犯面については、引き続き、警察、消防と十分に連

意見No.	項目・意見内容	意見に対する考え方・修正の方針及びその内容
		携し、児童の安全確保を図ってまいります。
9	●スクールバスの巻き込み事故対策を充分にしていいただきたいです。 環境として巻き込み事故の起こりにくい場所を作っていただきたいです。その上で保護者や学校関係者が注意するからこそ安全がより確かなものになります。よろしくお願いします。	御意見を踏まえ、安全に配慮した施設整備を検討してまいります。
10	p.74配置計画の方針 体育館は長寿命化はなぜ決定事項なのか。体育館の場所を固定しなければ、校舎と体育館の位置を柔軟に検討することができ、バス通学の児童、徒歩通学の児童の安全を考えた通学路が導き出せるのではないのでしょうか。また、ゾーン3の特別支援学級を校舎の外に出してしまうのはあり得ません。これも、体育館を動かすことができれば、もっと違う案があるのではないのでしょうか。	市学校施設は、80年程度使用可能とする「土浦市学校施設長寿命化計画」の方針に基づき、長寿命化改良工事を行うことで、既存建物を長く有効に活用し、安全・安心で持続可能な教育環境を確保していくこととしております。 従いまして、既存体育館についても、長寿命化改良工事を実施し、機能向上を図ることを基本としております。 なお、構造体の劣化状況等を踏まえ、84ページに記載のとおり、教育効果や利便性、安全性などについて、総合的に考慮したうえで、体育館の長寿命化改良、または建て替えの方針を決定し、全体配置を検討してまいります。 ※修正内容につき、76ページ参照のこと。
11	P76 評価について 評価について疑問点が多々あります。このような書き方をされると誘導されているような感覚に陥るのできちんと同じ条件で評価していただくか、この評価、ゾーニング例の記載はせずに、方針のみを示したうえで次の設計プロセスにすすんでいただきたい。評価における疑問点は以下のとおり。	御意見のとおり、ゾーニング例については、比較ではなくケーススタディであることから記載内容を見直します。 ※修正内容につき、76ページ参照のこと。

意見No.	項目・意見内容	意見に対する考え方・修正の方針及びその内容
	・P15 に記載のある端末を文房具としてフルに活用した学校教育活動を考えた時に南向きであることの評価が高い理由が説明できない。逆に画面が見にくい、プロジェクターを使用した授業では明るすぎるなどが考えられるところ、古くからの「当たり前」が単純に評価を高くしているだけではないでしょうか？ ・ゾーニング例 3 のみ特別教室をあえて既存の物を利用し、それが故に評価が下がっていることで一見評価が低いように見えますがいかがでしょうか？ ・スクールバス乗降場所から校舎までの距離が長いことが何故デメリットになるのか理解できません。それはゾーニングを考えるうえでそんなに重要な評価要素でしょうか？ ・児童の動線が校内だけしか考慮されていませんが、登下校する通学路とバス、車両の動線、近年の学校周辺の交通状況、周辺道路などを考慮したうえでの評価である必要はないでしょうか？そこは、地域や周辺住民、PTA、学校の先生等の現場努力で何とかしろということでしょうか？ ・普通教室と体育館が離れた位置に配置されるため、動線が長くなることが評価を下げるのであれば体育館の長寿命化を方針としてこのような配置にしようとしていることが足かせになっているのではないのでしょうか？	・校舎が南向きであることは、学校環境衛生基準で示す照度を確保しやすく、照明に係るコストの削減になり、冬場でもグラウンドに一日中日照が確保できることから、グラウンドについても良好な環境を維持しやすいと考えます。 ・御意見を踏まえて、一部修正をいたします。 ※修正内容につき、76 ページ参照のこと。 ・スクールバスの乗降場から校舎までの距離は、毎日数百人が往復することから、安全上及び施設の維持管理上、より近いほうが適切と考えます。 ・令和 5 年度に（仮称）土浦市立上大津地区統合小学校開校準備協議会においてスクールバスのルートを含め通学路の検討を進めたうえで、児童の安全確保が図られるよう、全体の配置計画を検討してまいります。 ・市学校施設は、80 年程度使用可能とする「土浦市学校施設長寿命化計画」の方針に基づき、長寿命化改良工事を行うことで、既存建物を長く有効に活用し、安全・安心で持続可能な教育環境を確保していくこととしております。 従いまして、既存体育館についても、長寿命化改良工事を実施し、

意見No.	項目・意見内容	意見に対する考え方・修正の方針及びその内容
	・地域連携がゾーニング例3のみ△なのが不明、その他の配置図同様に地域連携室や学校開放を行う特別教室・体育館を、普通教室と明確にゾーン分けできるため、地域とのさらなる連携が期待できませんか？	機能向上を図ることを基本としております。 なお、構造体の劣化状況等を踏まえ、84 ページに記載のとおり、教育効果や利便性、安全性などについて、総合的に考慮したうえで、体育館の長寿命化改良、または建て替えの方針を決定し、全体配置を検討してまいります。 ・御意見を踏まえて、一部修正をいたします。 ※修正内容につき、76 ページ参照のこと。
12	P74 体育館の長寿命化について 既存体育館を長寿命化改修して継続活用する方針であるとの記載がありますが、どこで決められたのでしょうか？P84 には費用の抑制だけでなく、教育効果や利便性、安全性などを総合的に考慮して、体育館の長寿命化改良もしくは建て替えの方針を決定すると記載があるのに、計画のなかではすべてが長寿命化ありきになっています。仮に「土浦市学校施設長寿命化計画」からきているものであるならば小学校も全て長寿命化の対象であると理解しています。それを体育館のみを長寿命化するという結論はいつどのように導き出されたのでしょうか？そしてそれは土浦市長が了解されていることなのでしょうか？もし、そのような決定がなされていないのであれば、この計画をもって、一文を入れたことで体育館のみが長寿命化されるような誤解を生む記載ですので「長寿命化も一案」などとし、「今後の設計段階で総合的に判断する」という方針に変えていただきたい。長	市学校施設は、80 年程度使用可能とする「土浦市学校施設長寿命化計画」の方針に基づき、長寿命化改良工事をするすることで、既存建物を長く有効に活用し、安全・安心で持続可能な教育環境を確保していくこととしております。 従いまして、既存体育館についても、長寿命化改良工事を実施し、機能向上を図ることを基本としております。 なお、構造体の劣化状況等を踏まえ、84 ページに記載のとおり、教育効果や利便性、安全性などについて、総合的に考慮したうえで、体育館の長寿命化改良、または建て替えの方針を決定し、全体配置を検討してまいります。 現在の校舎では、少人数学習などの新しい学びに対応することが構造上困難であり、既存校舎では施設規模も不足することから校舎については改築としております。

意見No.	項目・意見内容	意見に対する考え方・修正の方針及びその内容
	寿命化することで設計の枠が狭まり、地域の安全が確保できない配置案になった結果、周辺住民や保護者、現場の教職員に負担が強いられる結果になることは避けるべき。よって配置図も入れるのであれば駐車場などをイメージ図にいれることは避けてもらいたい。また、長寿命化に耐えられるかを実際に確認するのは、設計、配置が決まってからにしないで無駄な予算がかかるのではないのでしょうか？ ・長寿命化か新規建設は一時的な建設費用ではなく、目標使用年数８０年間を見据えて判断すべきだと思いますが、そのような評価は必要ないのでしょうか？	
13	P13関連計画の整理 第９次土浦市総合計画の記載がありません。一方で土浦市総合計画には小学校関連の記載がなされており、適正配置の考え方の中で、効率的な行財政運営による持続可能なまちづくりが、該当する政策方針とされています。配置を上大津東小の北とすることに決まりましたが、この場所で持続可能なまちづくりをするために学校がどのような位置づけでどのような役割が期待されるのか？そして、それを整備方針として本計画には記載すべき事項ではないのでしょうか？例えば周辺の街づくりをどのように推進していくから、どのような建物を小学校と併設もしくは隣接するのか、３０年、４０年後にはどのような役割が期待されるのかなども小学校を８０年間使うことを想定しているのであれば設計に反映されるべきではないのでしょうか？その点の記載を追記願います。なお、本件は小学校施設整備指針の P13 及び P15 にも関連の記載があることだと承知しています。	現在策定中で、おおつ野地区のまちづくりの指針となる「土浦市都市計画マスタープラン」及び「土浦市立地適正化計画」との整合を図り、時代の変化に柔軟に対応可能な学校づくりを進められるよう、統合校に求められる機能や役割を設計に反映してまいります。 また、今回頂いた御意見を踏まえ、次のように追記します。 【修正部分】 84 ページ 5.8.5 今後の課題及び設計方針 ①施設に関すること ・将来児童数が減少した場合には、増加が見込まれる放課後児童クラブや地域住民が利用可能なスペースなど、有効活用が図られるよう、対応する。

意見No.	項目・意見内容	意見に対する考え方・修正の方針及びその内容
	・小学校施設整備指針の P1 の基本方針には地域の生涯学習やまちづくりの核としての施設の整備とあります。現在のバス停もない場所に建設することとしたのであればまちづくりの核となるように、ただの小学校ではなく、建物にどのような機能を持たせるのかを設計において入れ込まなければならないのではないのでしょうか？	・ 56 ページに記載のとおり、地域の生涯学習等にも活用可能なラーニングコモンズを設ける計画としております。
1 4	P71 教職員ワークショップについて 平成 26 年に行われたワークショップ成果を踏まえた意見が記載されています。これはコロナ以前のワークショップであったと理解。今の時代にあった意見集約が必要と考えることから、改めてワークショップを要望。もし行うのであれば記載追加すべきだと思います。	令和 6 年度の基本設計の際に教職員や保護者とのワークショップを予定しておりますことから、御意見を踏まえ、その旨を追記いたします。 ※修正内容につき、71 ページ参照のこと。 (●主な意見・方針の下に、なお、統合小学校においても、令和 6 年度の基本設計の際に、教職員や保護者とのワークショップを予定しております。)
1 5	P4 適正配置方針の方策について 留意事項として児童の通学時における安全確保には十分留意するとの記載があります。現上大津東小学校の周辺は歩道のない狭い道路が多く、そこに大型バスでスクールバスが通るのであれば、現在の徒歩による通学の経路も考慮した安全施策が必要。この安全施策は周辺道路の整備という意味だけではなく、そもそもそのような危険が生じないような学校の施設配置が必要だと思いますので、計画案の P84 に記載してあるとおり、総合的に考慮した計画をお願いします。	適正配置の方針の留意事項は、統合校の候補地選定における留意事項であり、昨今の国道 354 号の交通事情等を踏まえ、通学児童の安全確保を第一に、上大津東小学校北側拡張としたものです。 今後は、84 ページに記載がございますように、スクールバスの運行、児童の動線と車両の動線の分離等、登下校の安全確保を十分に踏まえ、施設整備の配置を検討してまいります。 具体的な施設配置については、令和 6 年度に予定しております基本設計の中で決定いたします。

意見No.	項目・意見内容	意見に対する考え方・修正の方針及びその内容
16	最近とても気になるのが、昔の表現で言うサンデードライバーが多く、目の前しか見てない車が多く感じます。子供たちやお年寄りが歩いているのに、全く気づかず、徐行もしないで街なかを通ります。是非とも併せてご検討頂ければと思います。	学校に隣接する道路について、関係各所と協議し、安全性を高めていきたいと考えております。
17	土浦市で最も広い校庭を有し、まだ開校 40 年未満で教室も余っている菅谷小学校を廃校にして、新たに土地から購入、校舎建設するのは疑問です。それに、最大の人数を有する神立小学校は統合の対象外とのこと。児童教育のためとしても何のために学校を新たに建設するのか目的もわかりません。現在のある設備範囲内で全て解決出来るのですから菅谷小学校を有効に活用してください。菅谷小学校は土地も校舎もまだ使えます。校舎拡張も土地があり可能です。新規に土地購入する必要も校舎をゼロから建設する必要もありません。 いま土浦市がやるのは、無駄な税金を使わずに未来に繋げることでないでしょうか。	令和 2 年度に策定された「土浦市上大津地区小学校適正配置実施計画」に基づき、今後も適正な教育環境維持が可能な神立小学校を除き、上大津東小学校と菅谷小学校の適正配置に向け、統合小学校を整備することとしております。 統合先については、令和 4 年度に統合対象校の学区の地区長及び PTA 代表等で構成された「土浦市立上大津地区統合小学校施設整備等検討委員会」からの提言を踏まえ、統合先を上大津東小学校の敷地を北側に拡張することとしております。 御意見も踏まえ、統合小学校の建設において使える資産は有効活用してまいります。 また、統合後の菅谷小学校についても、今後、具体的な利活用方法を協議・検討していきたいと考えておりますので、御理解をお願いいたします。
18	1. 駐車場が 90 台分も確保されてますが、なぜですか？運動会など年数回の行事の為に確保なら費用的に勿体ないかと思えますし、それか「ラーニング・コモンズ」を見据えてそれだけ地域住民が学校内へ出入りするのを想定されての事でしょうか？ 2. 体育館の「長寿命化改修」を全面的に押し出して、移動・	1. 元菅谷小地区からの来校される保護者については、車で来ることを想定して 90 台程度が適正規模と考えております。 2. 市学校施設は、80 年程度使用可能とする「土浦市学校施設長寿命化

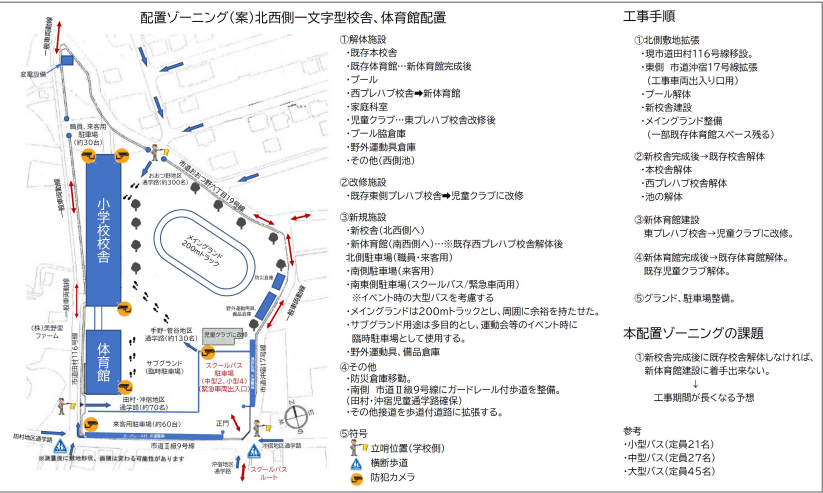
意見No.	項目・意見内容	意見に対する考え方・修正の方針及びその内容
	新設させるつもりがない資料に感じますがそのつもりはない考えでしょうか？例えば改修することで国等から補助金が出たり、「長寿命化改修」している他校との兼ね合いからでしょうか？ 3.「ラーニング・コモンズ」とは簡単に言うと「公民館」や「コミュニティセンター」と同じ又は一部同じような役割を果たす場所と理解してよろしいでしょうか？	計画」の方針に基づき、長寿命化改良工事をするすることで、既存建物を長く有効に活用し、安全・安心で持続可能な教育環境を確保していくこととしております。 従いまして、既存体育館についても、長寿命化改良工事を実施し、機能向上を図ることを基本としております。 なお、構造体の劣化状況等を踏まえ、84 ページに記載のとおり、教育効果や利便性、安全性などについて、総合的に考慮したうえで、体育館の長寿命化改良、または建て替えの方針を決定し、全体配置を検討してまいります。 3. ラーニングコモンズは、図書室、コンピュータ室、多目的室等を一体的に整備するもので、文部科学省の「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」において、これまでの学校図書館の在り方を捉えなおし、整備することが求められているものです。また、児童の学びの拠点とすることで、ICT を活用した調べる、まとめる、発表するなどの学習活動を効果的・効率的に行えるよう工夫することが可能となります。 将来的な地域開放の在り方については、教職員や保護者等と協議し、決定してまいります。
19	P74 体育館の改修について 「既存体育館を長寿命化改修して継続活用する方針である」との記載がありますが、改修して継続使用することは誰がいつ決めたのでしょうか？ P84 には「今後の課題・方針」には「費用の抑制だけでなく、教育効果や利便性、安全性など、総合的に考慮して、体育館の	市学校施設は、80 年程度使用可能とする「土浦市学校施設長寿命化計画」の方針に基づき、長寿命化改良工事をするすることで、既存建物を長く有効に活用し、安全・安心で持続可能な教育環境を確保していくこととしております。 従いまして、既存体育館についても、長寿命化改良工事を実施し、機

意見No.	項目・意見内容	意見に対する考え方・修正の方針及びその内容
	長寿命化改良、もしくは建て替えの方針を決定する。」とありますが、計画書は改修することを前提で記載されています。 P76の「想定される配置計画案の検討（参考）」でも全ての案について体育館は現在の位置で固定されています。この記載では体育館の長寿命化が既に決定された事項として誤解を生みます。配置ゾーニングにおいても現状とは別の場所に体育館を建て替えた場合の案を示すべきです。 また、体育館改修工事中に体育館を使用できないことは大きなデメリットではないでしょうか。	能向上を図ることを基本としております。 なお、構造体の劣化状況等を踏まえ、84ページに記載のとおり、教育効果や利便性、安全性などについて、総合的に考慮したうえで、体育館の長寿命化改良、または建て替えの方針を決定し、全体配置を検討してまいります。 御意見を踏まえて、一部修正をいたします。 ※修正内容につき、76ページ参照のこと。
20	P76 配置案のメリット・デメリットについて ここで記載されているメリット・デメリットは誰が何を根拠として評価しているのでしょうか？客観性に疑問があるのと、評価基準が古すぎるのではないかと容易に考えられます。コロナ禍以後は国内の社会構造や市民の認識が大きく変化しており、教育現場においてもIT化が進み、リモート授業など、これまでになかった仕組みで学校教育が行われています。急速に変化する社会情勢に対応し、これまでの価値観に囚われない価値観で適切に評価して頂きたいです。 ・教室環境は南向きが高く評価されて東向きが低く評価されていますが、現在の南向きの校舎に通っている児童によると、「明るい日は、電子黒板が反射して見えない」と訴えています。正しく評価できているのでしょうか？	御意見のとおり、ゾーニング例については、比較ではなくケーススタディであることから記載内容を見直します。 ※修正内容につき、76ページ参照のこと。 ・校舎が南向きであることは、学校環境衛生基準で示す照度を確保しやすく、照明に係るコストの削減になり、冬場でもグラウンドに一日中日照が確保できることから、グラウンドについても良好な環境を維持しやすいと考えます。

意見No.	項目・意見内容	意見に対する考え方・修正の方針及びその内容
	・ゾーンニング3では「特別支援が別棟となり、インクルーシブな環境が形成しにくい」とありますが、なぜゾーンニング3のみ特別支援が別棟なのか説明が無く不明です。 ・児童動線について、「明快な施設構成で誰にもわかりやすく、迷う心配が少ない。」が高評価になっていますが、現在の増築棟が多い上大津東小学校でも迷っている児童は皆無であり、評価が高い理由が不明です。 ・「スクールバス乗降場所から校舎までの動線が短い」については、動線が短いことによるメリットは極小です。登下校時のみしか使わないスクールバス乗降場所の評価は距離ではなく安全性で考えることが妥当です。 ・地域連携について、そもそも学校施設を地域住民に開放するという前提で記載されていることが問題です。加えてゾーンニング3のみ評価が低い理由が ・防災計画について、すべてのゾーンニングについて「避難所となる体育館を教室と明確にゾーン分けできるため、避難所運営がしやすい。」とありますが、災害の規模や避難者の特性によっては体育館だけではなく特別教室や一般教室に避難所を開設した実例があります。単なる施設の線引ではなく、東日本大震災や常総水害の教訓を計画に活かしてください。 ・上記を踏まえると、「想定される配置計画案の検討（参考）」	・御意見を踏まえて、一部修正をいたします。 ※修正内容につき、76 ページ参照のこと。 ・スクールバスの乗降場から校舎までの距離は、毎日数百人が往復することから、安全上及び施設の維持管理上、より近いほうが適切と考えます。 ・令和5年度に（仮称）土浦市立上大津地区統合小学校開校準備協議会においてスクールバスのルートを含め通学路の検討を進めたうえで、児童の安全確保が図られるよう、全体の配置計画を検討してまいります。 ・御意見が最後まで書かれていないため回答は差し控えます。 ・御意見を踏まえて一部修正をさせていただきます。 ※修正内容につき、76 ページ参照のこと。 ・3 案比較検討のメリット・デメリットの評価については、御意見を踏ま

意見No.	項目・意見内容	意見に対する考え方・修正の方針及びその内容
	においては、「配置ゾーニング例 1（北側一文字型校舎配置）」が選択されるように意図的に誘導している印象を受けます。配置案を掲載するのであれば、体育館を移動させる案も掲載すべきです。	えて一部修正をさせていただきます。 ※修正内容につき、76 ページ参照のこと。
2 1	P59 ④地域に開かれた明るい学校づくり 学校の一部を地域に開放する旨の内容が記載されていますが、児童の安全は確保できるのでしょうか。P60 にはセキュリティラインの記述がありますが、学校の敷地出入り口から完全に分離することは不可能であり、学校側が立ち入り禁止とした区域にも容易に立ち入ることができます。部外者の立ち入りが常態化すれば、不審者や不審物が紛れ混んだ場合に発見することが困難になります。 例えばスマートフォンで盗撮をすることを目的に、一般利用者になりすまして侵入してきた者を教員が排除することはできるのでしょうか？悪意をもった者や精神錯乱者が児童に危害を加えるのを未然に防ぐことはできるのでしょうか？学校を開放するということは好ましくない者も招き入れることになります。児童の安全確保のため、学校を開放することに反対です。	ラーニングコモンズは、図書室、コンピュータ室、多目的室等を一体的に整備するもので、文部科学省の「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」において、これまでの学校図書館の在り方を捉えなおし、整備することが求められているものです。また、児童の学びの拠点とすることで、ICT を活用した調べる、まとめる、発表するなどの学習活動を効果的・効率的に行えるよう工夫することが可能となります。 将来的な地域開放の在り方については、教職員や保護者等と協議し、決定してまいります。
2 2	P55 の 4.1.7 計画コンセプトについて 「①安心・安全な学校づくり」にある、「スクールバスを含む、安全な登下校 動線」についての考え方を明確にし、配置計画（案）に反映して欲しい。 P77、78、79 の配置ゾーニング例では具体的な「安全」のイメー	御意見のとおり、令和 5 年度に（仮称）土浦市立上大津地区統合小学校開校準備協議会においてスクールバスのルートを含め通学路の検討を進めたうえで、児童の安全確保が図られるよう、全体の配置計画を検討してまいります。

意見No.	項目・意見内容	意見に対する考え方・修正の方針及びその内容
	ジが出来ないと考える。 まず、現状の登下校の状況を把握し、問題点を整理した上で全体の配置計画（案）とする必要がある。 配置を決めてから、通学路の安全を考えるのではなく、「通学路」の安全を確保した上で配置（案）を作成することで問題が明確になると考える。	
2 3	P74 の 5.5 配置計画の方針について 「既存体育館を長寿命化改修して継続活用する方針」とあるが、これは敷地拡張に伴わない既存敷地内での改修を前提としてい ると考えます。 今回の事例では、敷地拡張し本校舎建て替えを行うのであれば、既存体育館の改修ではなく建て替えも含めて、全体配置を計画して欲しい。 （部分最適が配置の全体最適とはならない）	市学校施設は、80 年程度使用可能とする「土浦市学校施設長寿命化計画」の方針に基づき、長寿命化改良工事を行うことで、既存建物を長く有効に活用し、安全・安心で持続可能な教育環境を確保していくこととしております。 従いまして、既存体育館についても、長寿命化改良工事を実施し、機能向上を図ることを基本としております。 なお、構造体の劣化状況等を踏まえ、84 ページに記載のとおり、教育効果や利便性、安全性などについて、総合的に考慮したうえで、体育館の長寿命化改良、または建て替えの方針を決定し、全体配置を検討してまいります。 現在の校舎では、少人数学習などの新しい学びに対応することが構造上困難であり、既存校舎では施設規模も不足することから校舎については改築としております。
2 4	（参考）配置 ゾーニング（案）北西側一文字型校舎、体育館配置 統合小学校整備基本計画（案）に係る説明会（2 回）に参加し、改めて配置ゾーニング（案）を提案します。 添付資料程度にまとめて頂けると理解が深まると思います。	御意見について、令和 6 年度に予定している基本設計（配置計画）の参考にさせていただきます。

意見No.	項目・意見内容	意見に対する考え方・修正の方針及びその内容
	【参考：別添ファイル】  配置ゾーニング(案)北西側一文字型校舎、体育館配置 工事手順 ①解体施設 ・既存本校舎 ・既存体育館・新体育館完成後 ・プール ・西プレハブ校舎→新体育館 ・家庭科室 ・児童クラブ→東プレハブ校舎改修後 ・プール撤去 ・メインランド整備 ・野外運動器具倉庫 ・その他(既設池) ②改修施設 ・既存東側プレハブ校舎→児童クラブに改修 ③新規施設 ・新校舎(北西側へ) ・新体育館(南西側へ)※既存西プレハブ校舎解体後 ・北側駐車場(職員・来客用) ・南側駐車場(来客用) ・南東側駐車場(スクールバス/緊急車両用) ※イベント時の大型バスを考慮する ・メインランドは200mトラックとし、周間に余裕を持たせた。 ・サブグラウンド用途は多目的とし、運動会等のイベント時に臨時駐車場として使用する。 ・野外運動具、商品倉庫 ④その他 ・防災倉庫移動。 ・南側 市道Ⅱ線9号線にガードレール付歩道を整備。 (旧村・中庭児童遊園地跡地) ・その他接道を歩道付道路に拡張する。 ⑤符号 ● 立寄位置(学校側) ● 横断歩道 ● 防犯カメラ 本配置ゾーニングの課題 ①新校舎完成後に既存校舎解体しなければ、新体育館建設に着手出来ない。 ↓ 工事期間が長くなる予想 参考 ・小型バス(定員21名) ・中型バス(定員27名) ・大型バス(定員45名)	意見に対する考え方・修正の方針及びその内容
25	P85 の 6.1 概算工概算工事費の算出について 各項目内訳の詳細を明記しないと、金額の査定が出来ないと考える。配置計画によって費用が変わってくると考えるが、例えば配置ゾーニング例のどれに該当するのか明記する必要がある。 設計・監理費・・・範囲が不明 調査・手続き・・・内容が不明 施設建設費・・・一式で費用を表現しないで、各項目で「新規」「改修」等を明記し、費用を分けて表示する。 既存校舎解体費・・・対象となる施設を明記する。 費用算出時の為替を明記した方が良い。(資材市況の分かる範囲で)	設計・監理費については、統合小学校の基本設計、実施設計及び工事監理費の合計となっております 調査・手続きについては、埋蔵文化財試掘調査、埋蔵文化財本調査、地質調査、計画通知手数料等となっております。 記載の工事費については、基本計画に記載の配置例1を基に算出した概算です 工事費の詳細は、予算化の際に精査してまいります。

意見No.	項目・意見内容	意見に対する考え方・修正の方針及びその内容
26	4 ページ：適正配置の方針について 地元の意見を反映して、統合先「上大津東小北側拡張」とされたことを高く評価します。理由として（登下校時の安全性向上・小中一貫教育の推進ができる・費用抑制）が明記されたことも共感できます。 令和 2.11 策定「土浦市上大津地区小学校適正配置実施計画」（令和 4 年度一部改定）とありますが、候補地を五中付近（五中 500 メートル以内を目安）とした部分を外したのですか。また、開校目標年が令和 9 年 4 月から令和 10 年 4 月になったことの訂正でしょうか。	御意見いただきありがとうございます。 「土浦市上大津地区小学校適正配置実施計画」（令和 4 年度一部改定）については、ご賢察のとおりでございます。
27	統合先の候補地見直し・変更について 80・81 ページ： これまでの検討経緯として「施設整備等検討委員会」での議論内容を記載していますが、前計画案（五中西側・公民館複合化）の見直しの経緯が抜けています。令和 3 年 11 月 30 日開校準備協議会・12 月地区回覧・12 月 23 日公民館運営委員向け説明会から見直しに至る経過を振り返り、前計画の課題点を含めて補足記載してください。	御意見をいただきました内容について、追記いたします。 ※修正内容につき、80 ページ参照のこと。
28	計画コンセプトについて 55 ページ 「未来へ歩む地域とともに、子どもたちの成長と新時代の学びを支える学校」の主目標以下、学校づくりの具体目標の順序（安心安全・新たな学び・心豊かさ・地域に開かれた・環境配慮・持続可能）が、前計画より適切になったと思います。前計画では（学び）が 4 番目でした。	御意見いただきありがとうございます。

意見No.	項目・意見内容	意見に対する考え方・修正の方針及びその内容
29	設計について 設計者と地域「施設整備等検討委」との協議は、十分にしてください。 71 ページ：新治学園整備基本計画策定時のワークショップ事例の記載があります。茨城出身の建築家妹島和世さんは、日立駅などの建築を手がけています。妹島和世ワークショップが実現すると素敵ですね。 76 ページ：配置計画の検討評価内容も協議やワークショップで、変わるかもしれません。 校舎に木材活用を検討することも良いと思います。つくばに事例があったと記憶しています。	令和 6 年度の基本設計の際に教職員や保護者とのワークショップを予定しておりますことから、御意見を踏まえ、その旨を追記いたします。 ※修正内容につき、71 ページ参照のこと。 (●主な意見・方針の下に、なお、統合小学校においても、令和 6 年度の基本設計の際に、教職員や保護者とのワークショップを予定しております。) 木材についても可能な範囲で活用してまいりたいと考えております。
30	85 ページ：概算工事費の算出について 「施設整備等検討委」で昨年 11 月に示された、解体＋新築＋改修の概算額は 31 億円でした。これが 44.8 億円になる理由の説明をしてください。	施設整備等検討委員会では、候補地を比較することが目的であったため、令和 2 年の適正配置検討の際に算出した単価を基に算出しておりますが、本計画に記載の概算金額は令和 5 年の単価で算出しており、建設資材や物価が高騰しているため、金額が上昇しております。また、本計画の概算金額には設計・監理費及び調査・手続きが含まれており、単純に比較する対象ではございません。
31	スクールバスについて 運行についての協議体制と保護者負担は無しということを記載してください。	スクールバスについては、(仮称)土浦市立上大津地区統合小学校開校準備協議会の中で検討してまいります。
32	10 ページ：緑化について 生態系保全に留意し、学校ビオトープや植物園作りも考えられます。田村・沖宿地区にある霞ヶ浦再生地区との交流も見通せます。これからに期待します。	御意見として賜ります。

意見No.	項目・意見内容	意見に対する考え方・修正の方針及びその内容
	59、72 ページ：環境配慮の学校づくり 再生可能エネルギーの活用と省エネの推進に期待いたします。	
3 3	●計画（案）P57 の「地域開放を行う特別教室」について ・市内の学校で、地域開放されている教室はあるのか、あるならばどの学校がそうなのか教えてください。 ・児童の安全のため、ゾーン分離する際の扉（P60 の例）は鍵付きにしないと危険だと考えます。 ・2023 年 3 月に行われた住民に対する説明会の質疑応答では、具体的な不審者侵入予防策の回答が得られませんでした。上位計画がそうなっているから、時代の流れとしてそうなっているから、では児童の安全は守れないと考えます。 教室を地域開放するのであれば、地域開放している日本全国の学校の不審者対策事例を提示して住民を納得させてからにしたいと考えています。 ・児童の安全を守るには、施設整備・セキュリティ人員の配置など、地域住民との意見交換が必須だと思います。 「今後、地域の皆さんと話し合って決めていく」という方針ならば、基本設計の中で住民との意見交換する時期と回数を教えてください。	・市内の学校については、主に体育館やグラウンドが地域に開放されております。また、PTA 活動等にも教室が解放されております。 ・セキュリティゾーンの扉は施錠できることを想定しております。 ・ラーニングコモンズは、図書室、コンピュータ室、多目的室等を一体的に整備するもので、文部科学省の「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」において、これまでの学校図書館の在り方を捉えなおし、整備することが求められているものです。また、児童の学びの拠点とすることで、ICT を活用した調べる、まとめる、発表するなどの学習活動を効果的・効率的に行えるよう工夫することが可能となります。 将来的な地域開放の在り方については、教職員や保護者等と協議し、決定してまいります。 ・基本設計の際に教職員や保護者とのワークショップを予定しておりますので、時期が決定次第、改めてお示しいたします。

意見No.	項目・意見内容	意見に対する考え方・修正の方針及びその内容
3 4	●計画（案）P76 の配置計画案について ・表 5-9 の、○や△の評価は非常に曖昧です。進めたい計画に応じて○と決めたり△と決めたりできてしまうように感じられます。 ・保護者からすれば児童の安全が一番大切なので、バスルートと徒歩通学路が重ならない案 3 が最も好ましいと考えます。 ・体育館を長寿命化したいため体育館位置が固定となり、それが施設配置の足かせとなっているように考えられます。 案 1、案 2 ではバスルートと徒歩通学路が重なり危険なので、2 つのルートが完全分離となる案 3 のような案も、複数練り直して公表いただきたいと考えます。 ・案 1、案 2 のように委託するバス会社で運転手さんのほか、交通整備員（バスが門を出る前などに、児童に止まれの指示を出す人など）の配置も依頼したいと考えます。 ・「地域の皆さんと話し合って決めていく」項目は沢山あるように考えられます。地域との意見交換を含めた意思決定までの過程は、具体的にどのようなものでしょうか？ 施設配置について住民の同意を経て設計完了となるまで、住民との意見交換の時期や回数を教えていただきたいです。	・配置計画については案ではなく例となっており、それぞれのメリット・デメリットを整理したものであるため、現段階では、どれかに決めるということではございません。 御意見を踏まえ、一部修正をさせていただきます。 ※修正内容につき、76 ページを参照のこと。 ・基本設計の際に教職員や保護者とのワークショップを予定しておりますので、時期が決定次第、改めてお示しいたします。